

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/20		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586013702	科目番号 / Course code	05860137
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12111_005		
授業科目名 / Course title	B8健康と医療の安全・安心 / Safety and Security in Medicine and Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 伊藤 公成 / Kosei ITO, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 江藤 宏美 / Eto Hiromi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 伊藤 公成 / Kosei ITO, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 江藤 宏美 / Eto Hiromi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	koyo-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	歯学部本館7F薬剤学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8566		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金曜日 13:00-18:00 (LACSで予定を確認すること)、メールでも対応。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	健康を維持するために日ごろ意識することが何か、医療とのかかわりを正しく理解するために必要な考え方を身につける。また、健康で安心した生活を送るために医療はどのようなかかわりを果たすのかを自ら考え、取り組む意識を育てる。		
授業到達目標/Course goals	医療とは、人間の健康の維持、回復、促進などを目的とした諸活動を意味する。ここでは、健康の維持と医療との関わりを正しく理解し、説明できる (DP-2)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的授業参加態度(40%)、レポート(40%)、小テスト(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前に授業に関するキーワードについて学習する(2時間)。事後には、いろいろな視点から健康と 医療の安全・安心について考える(2時間)。		
キーワード/Keywords	遺伝、遺伝子組換え、家族、女性、子ども、薬の副作用		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しない。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	特に指定しない。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/		
学生へのメッセージ/Message for students	必携PCを必ず持って来て下さい。定期考査は実施しないので、毎回の出席は当然ですが、課題の提出などをくれぐれも忘れないようお願いいたします。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション (西田)
第2回	遺伝子組換え技術 (木住野)
第3回	遺伝子と遺伝子発現調節 (伊藤)
第4回	遺伝子組換え技術と生物多様性 (木住野)
第5回	遺伝子発現調節の重要性 (伊藤)
第6回	遺伝子組換え技術と医療 (木住野)
第7回	「がん」とは何か (伊藤)
第8回	がん研究の実際 (伊藤)
第9回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?ライフイベントと起こりうる危機 (江藤)
第10回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?ドメスティックバイオレンスの発生と危機 (江藤)
第11回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?生命誕生と新しいメンバーを迎えた家族の危機 (江藤)
第12回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?さまざまな葛藤と意思決定支援 (江藤)
第13回	薬の功罪 1 (西田)
第14回	薬害 (西田)
第15回	薬の功罪 2 (西田)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586014502	科目番号 / Course code	05860145
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12131_005		
授業科目名 / Course title	B8科学と技術の安全・安心 / Risk and Safety in Science and Technology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hidechto nagasaki-u.ac.jp ? (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部流体エネルギー工学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。?		
授業到達目標/Course goals	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心(科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業内容に沿って、事前に教科書の内容の概略を理解しておく。授業ではその理解度の確認を行うとともに、さらに深い理解を計る。 授業後は、演習によって、授業内容の理解をより具体的に行い確かなものとする。		
キーワード/Keywords	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心?		
教科書・教材・参考書/Materials	安全・安心工学入門(古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 安全と安心の基本的な考え方について(林)
第2回	第2回 災害とリスクマネジメントについて(林)
第3回	第3回 安全文化について(林)
第4回	第4回 事故の事例と原因紹介(林)
第5回	第5回 安全安心の意識調査(田中) 安全安心に関する提案のグループ分け
第6回	第6回 安全・安心に関する法律(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ1
第7回	第7回 電気に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ2
第8回	第8回 安全安心に関する提案の発表会(田中)
第9回	第9回 電磁波に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の総評
第10回	第10回 自然災害と安全・安心 その1(高橋)
第11回	第11回 自然災害と安全・安心 その2(高橋)
第12回	第12回 自然災害と安全・安心 その3(高橋)
第13回	第13回 化学物質の安全・安心 その1(久保)
第14回	第14回 化学物質の安全・安心 その2(久保)
第15回	第15回 化学物質の安全・安心 その3(久保)
第16回	予備日

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586028101	科目番号 / Course code	05860281
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15131_005		
授業科目名 / Course title	B8経済と生活の安全・安心 / Safety and Security in the Economy and Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宍倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宍倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宍倉 学 / Shishikura Manabu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shishi@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Office	経済学部 片淵キャンパス東南アジア研究所206号		
担当教員TEL/Tel	095(820)6396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日13:00 ~ 14:30(研究室に来室の際は事前にメール等で連絡をください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	経済社会が発展する中で、リスクや不確実性がもたらすコストや不安を削減するために社会システムがどのような機能や役割を担っているのかを、経済学・経営学・法学などの社会科学的側面から照射することで、リスクに向き合う社会が抱える課題や困難、今後の方向性を理解する。		
授業到達目標/Course goals	リスクに対する保険の役割を理解するとともに、私的保険と公的保険の境界・役割分担について、経済学のツールを用いて理解できるようになる。また、保険制度が抱える諸課題や政府等で議論されている社会保障の在り方などについて理解するとともに、自らの見識や見解を持てるようになることを目的とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験60%、授業中に実施するプレゼンテーションや課題レポート40%。合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前の学習として、「教科書・教材・参考書」に示した文献を3, 2, 1の順で一読しておくこと。		
キーワード/Keywords	リスクと不確実性、私的保険と公的保険、社会保障、効率と公平		
教科書・教材・参考書/Materials	下記の文献を適宜利用する。 1. 小塩隆士 (2013) 「社会保障の経済学 (第4版)」日本評論社 2. 下和田功 (2010) 「はじめて学ぶリスクと保険 (第3版)」有斐閣ブックス 3. 米山高生 (2014) 「リスクと保険の基礎理論」同文館出版		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビなどで報道される保険や社会保障関連の記事やニュースを、日々チェックするように心掛けるようにしてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	リスクは「市場の失敗」の原因であり、これに対処する場合は政府の役割が重要となる。当該授業では担当教員の実務経験をもとに、社会保障政策をはじめとしてリスクに対応するための様々な政府政策についても解説を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	リスクと政府
第3回	課税 (消費税)
第4回	課税 (所得税・法人税)
第5回	社会保障制度の概要
第6回	年金・失業保険
第7回	公的扶助
第8回	医療・介護保険
第9回	私的保険 (生命保険)
第10回	私的保険 (損害保険)
第11回	リスクへの選好とリスク下での意思決定 (期待効用理論)
第12回	リスクと所得再分配
第13回	保険の需要と供給 (逆選択)
第14回	保険の需要と供給 (モラルハザード)
第15回	総括
第16回	総括 (定期試験を含む)